

# モニタリング結果報告書 (平成27年度)

## 1. 施設概要

施設名	21世紀の森		
所在地	南足柄市内山2870-5		
サイトURL	http://k-mask.jp/21/		
根拠条例	神奈川県立21世紀の森条例		
設置目的(設置時期)	森林及び林業に関する知識の普及及び向上並びに林業の振興を図り、併せて県民の保健及び休養に資する(昭和58年から設置)		
指定管理者名	株式会社足柄グリーンサービス		
指定期間	H23. 4. 1～H28. 3. 31	施設所管課	森林再生課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>項目評価(利用状況、利用者の満足度、収支状況)がC、S、Aとなったため、3項目評価はBとした。 事業実施については、年間を通して円滑に運営することが出来た。地域ぐるみのイベントとして実施した「県産材まつり」においてPRに努め昨年同様の集客を達成できたものの、年間を通しての来場者が、過去最大となった昨年度と比べ15%減少した。広場や散策路等野外の敷地を多く持つことから、天候に左右されやすいが、施設の宣伝や紹介を行い、集客に努めたい。</p> <p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況:提案に基づいて、維持管理事業の施設の維持管理業務では当該施設の魅力向上のため、提案どおりの取組を実施した。集団樹木や林道等における日常的な維持管理業務では、枝打ちや浮石除去により安全確保に努め、積極的に施設の利用拡大に努めている。</p> <p>◆利用状況:チラシの配布やHPの更新等の広報活動に積極的に取り組んではいるが、利用者数が目標達成率82%となり、C評価となった。天候不良や猛暑の影響等により、夏季(6～8月)の利用者数が伸び悩んだ結果、利用者数は対前年度比84.2%となった。利用状況については施設宣伝などが課題であり、今後地域との連携強化などにより対応することを検討している。</p> <p>◆利用者の満足度:施設配架や手配りにより実施し、上位2段階の回答割合が93%となったためS評価となった。回収率は、手配りに努めたが、33%と昨年度に比べ高くなったが以前低くなっている。アンケートの実施にあたっては、利用者に幅広く回答してもらえるよう記載いただくよう声かけを行う等、指定管理者は努力をしているが、散策路や広場利用者への配布手段がなく、配布数の少なさが課題となっている。</p> <p>◆収支状況:事業計画に沿った運営を行っており、指定管理料の範囲内で概ね良好に執行されているため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等:苦情・要望はなかった。</p> <p>◆事故・不祥事等:指定管理業務内における、事故・不祥事はなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況:県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他:なお、平成27年度の3項目評価についてはB評価とした。今後は、施設PR等の取組を継続するとともに、利用者からの要望を踏まえたイベントの実施等、更なる利用拡大に努めてもらいたい。</p>

3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要
B	※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう

## 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	6月5日、11月19日、 2月5日、2月12日	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容

#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
広い面積と、様々な自然環境を有しているため、維持管理業務は季節の移り変わりや、利用者の利用状況などを勘案して年間計画を立案して行う。	日常点検及び清掃を毎日実施し、清潔できれいな環境の保持に努め、備品等においても定期点検を行ったり、不具合箇所の早期修繕を行った。	
自然の樹木や、来場者への便益施設、管理施設などが複合的に存在しているため、自然環境保全、機能保全、アメニティーという要素をバランスよく保つような維持管理を実施する。	樹木の健全な育成を保つため、必要な下草刈りやつるりを実施した。	
自然と親しみ、心と体を癒やす場として、県民の保健及び休養に資するような管理運営を行う。 また、地域住民にも有効に活用してもらうことで、利用者との交流を図ることができる「森の交流ステーション」（森の駅）として管理運営を行う。	施設の概要、目的、散策路、展示室の内容等について説明、案内し、また森林の働きや重要性について解説を実施した。	
台風や降雪など異常気象による突発的被害には、適時対応、修復作業を実施していく。	屋根（稜線部）を覆っているトタン板の剥がれを点検により早期発見修理するとともに、猛暑、台風、大雨、大風、降雪時の安全確認を実施した。	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等
木工体験教室、自然観察会、文化体験、林業体験ツアー等、年間を通じて20回以上の定期的な自主事業を実施する。	木工体験教室等（年8回/計4,621人）、森林文化体験等（年4回/計62人）、自然観察会等（年14回/171人）、林業体験森づくり（年1回/30人）を実施した。
年1回、地域ぐるみのお祭りとして、県産材を使った木工体験を通じ、神奈川の森林・林業についての啓発事業を実施する。	「県産材まつり」は、県や郵便局、かながわ森林インストラクターの会などの団体からの参加を受け、チラシ配布を行い昨年並みの人出の催しとなった。
交通機関を利用し来場するには利便性の悪い場所に位置しているため、土日祝日を中心とした自主事業実施時に、マイクロバスによる送迎を実施する。	年13回送迎を行い、46人の利用があった。

#### 5. 利用状況

評価	＜評価の目安＞ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
C	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	39,889	49,979	42,094
対前年度比		125.3%	84.2%
目標値	43,489	41,086	51,478
目標達成率	91.7%	121.6%	81.8%

目標値の設定根拠： 前年度実績比3%増

利用者数の算出方法（対象）： 10時、13時、15時の駐車台数に、普通自動車1台に対して4名等、一定の人数をかけて算出

[ 参考：最大利用可能人数/年 ]

	森林館	木材工芸センター				合計
定員	70	25				
年間利用可能日数	322	322				
最大人数※	22,540	8,050	0	0	0	30,590
稼働率	60.65%	43.55%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易アンケート：随時 詳細アンケート：年1回以上	詳細アンケートを12月に実施した。上位二段階の評価は前年と同様に高水準を維持しており、引き続き適正な運営が行われているものと見られる。

### [ 施設としての総合的評価 ]

質問内容 \_\_\_\_\_ 施設管理に対する満足度について 総合について

実施した調査の配布方法 利用者に配布・施設に配架 回収数/配布数  $124 / 376 = 33.0\%$

配布(サンプル)対象 \_\_\_\_\_ 自主事業参加者への配布等

	満足	どちらか といえば 満足	ふつう	どちら かとい えば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	59	47	8	0	0	114	トイレが作業場近くに あつた
回答率	51.8%	41.2%	7.0%				
前年度の 回答数	56	69	28	4	0	157	
前年度回答率	35.7%	43.9%	17.8%	2.5%			
回答率の 対前年度比	145.1%	93.8%	39.3%	0	0		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### [ 参考：職員の対応状況 ]

質問内容 \_\_\_\_\_ 施設管理に対する満足度について 接客対応について

実施した調査の配布方法 利用者に配布・施設に配架 回収数/配布数  $124 / 376 = 33.0\%$

配布(サンプル)対象 \_\_\_\_\_ 自主事業参加者への配布等

	満足	どちらか といえば 満足	ふつう	どちら かとい えば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	81	38	5	0	0	124	受付の対応がよかつた
回答率	65.3%	30.6%	4.0%				
前年度の 回答数	70	69	24	0	0	163	
前年度回答率	42.9%	42.3%	14.7%				
回答率の 対前年度比	152.1%	72.4%	27.4%	0	0		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### [ 参考：その他 ]

アンケートにおいて、満足度の高さが伺えたが、改善して欲しい点では、冷房設備の設置や交通の便があがっていた。

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	28,470	0	0	0	28,470	28,470	0	100.00%
	決算	28,470	0	0	0	28,470	28,470	0	100.00%
前年度	当初予算	29,285	0	0	0	29,285	29,285	0	100.00%
	決算	29,285	0	0	0	29,285	29,078	207	100.71%
27年度	当初予算	29,285	0	0	0	29,285	29,285	0	100.00%
	決算	29,285	0	0	0	29,285	28,726	559	101.95%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ]

※県が支出する計画修繕工事・各所管工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
	1,904	ポンプ室屋上防水改修工事(972千円)等

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 50千円以上)

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
6月13日	LED照明の落下	老朽化等	①立ち入りの禁止 ②同機種において、撤去を行った。
8月7日	屋根の棟の稜線部分の瓦の継ぎ目を覆うトタン板の剥がれ	強風	①落下予測位置に立ち入り禁止設定を行い、修復時に同稜線部分の目視確認を行った。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。